

# ▽▽▽ 環境報告書 ▽▽▽

## 2024



三重県立四日市農芸高等学校  
環境美化委員会

## 目 次

|     |                         |     |    |
|-----|-------------------------|-----|----|
| 1   | 四日市農芸高等学校 環境理念・環境方針     | ・・・ | 2  |
| 2   | 2024 年度 環境目標            | ・・・ | 3  |
| 3   | 環境教育の推進                 |     |    |
| (1) | 環境教育プログラム               | ・・・ | 4  |
| (2) | 家庭との連携                  | ・・・ | 4  |
| (3) | 地域との連携                  | ・・・ | 4  |
| (4) | 企業との連携                  | ・・・ | 5  |
| (5) | 大学等との連携                 | ・・・ | 5  |
| (6) | 環境週間                    | ・・・ | 5  |
| (7) | 環境月間                    | ・・・ | 5  |
|     | ＊ 2024 環境教育実施報告書一覧表     | ・・・ | 6  |
| (8) | 防災教育の実施                 | ・・・ | 15 |
| 4   | 環境コミュニケーションの推進          | ・・・ | 16 |
| 5   | 環境汚染の予防と環境保護の取り組みについて   | ・・・ | 17 |
| 6   | 2024 年度 環境目標 達成度一覧（まとめ） | ・・・ | 19 |
|     | 学校教育アンケート調査の結果          | ・・・ | 20 |

## 1 四日市農芸高等学校 環境理念・環境方針

### 環 境 理 念

私たちは科学技術の発展のおかげで、たいへん便利で快適な生活を手にすることができました。しかしその一方で、限りある地球資源の大量消費やそれに伴う環境破壊が深刻化しています。このまま放置すれば、やがて人類は自分たちの身勝手な行為により自滅する危険さえ生じてきました。

私は、三重県立四日市農芸高等学校長として、美しく素晴らしい地球環境を後世に引き継ぎ守っていくために、日常の教育活動の中に導入した環境教育を充実させ、心豊かな人間性を育み、地域社会に貢献する人材を育成する学校を目指します。生徒の環境問題への関心を高め、自然や環境を尊重する態度や能力を養い、積極的な環境保護に取り組むことのできる人材を育成することを教育方針の一つとします。

そのため「環境マネジメントシステム」を構築し、実行することをここに宣言します。

### 環 境 方 針

1. 環境教育を推進します。
2. 環境に配慮した行動を推進します。
3. 環境汚染の予防と環境保護に努め、法規制などの順守に努めます。
4. 環境マネジメントシステムの継続的な改善に努め、開かれた学校づくりを推進します。

2024年 4月 1日

三重県立四日市農芸高等学校長

## 2 2024 年度 環境目標

|   | 【環境方針】<br>環 境 目 標                                   | 取 組 みの 計 画<br>実 施 事 項                                           | 責任者部門            |
|---|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------|
|   | 【環境教育の推進】                                           |                                                                 |                  |
| 1 | ・環境教育を通して、<br>生徒に「想像力」「行動力」「理解力」<br>の3つの力をつける       | ①各教科での環境教育<br>②環境週間<br>③環境月間<br>④地域とのコミュニケーション活動<br>⑤防災教育（防災訓練） | 全 部 門            |
|   | 【環境汚染の予防と環境保護】                                      |                                                                 |                  |
| 2 | ・節電の実行<br>・節電の啓発活動を実行する                             | ①節電型電球の100%利用の推進<br>②節電のための啓発活動の実施                              | 事 務 部 門<br>教職員部門 |
| 3 | ・節水の実行<br>・啓発活動を実行する                                | 節水(不要な水を出さない取組み)のため<br>の啓発の実施                                   |                  |
| 4 | ・日常清掃の徹底とゴミ分別による再利用化を<br>推進する                       | 教室整備のチェックを年2回実施                                                 |                  |
| 5 | ・紙使用量の減量化と分別処理に<br>よる紙の再利用化を推進する                    | 使用後の分別処理を徹底し、紙使用量に<br>おける100%リサイクル化に努める                         | 事 務 部 門          |
|   | 【開かれた学校】                                            |                                                                 |                  |
| 6 | ・環境コミュニケーションの推進<br>「環境意識の向上と環境コミュニケー<br>ション活動を推進する」 | ①校内外への環境コミュニケーション<br>活動の推進<br>②環境報告書の発行                         | 環境美化委員会          |

### 3 環境教育の推進

#### (1) 環境教育プログラム

##### ◇全部門共通

| 実施事項    |     | 教 育 内 容                            | 実施予定月    | 対象  |
|---------|-----|------------------------------------|----------|-----|
| 環 境 週 間 | 全 校 | 環境に関する話題に触れる<br>学校環境デーの実施(地域の清掃活動) | 6 月      | 全生徒 |
| 環 境 月 間 | 各授業 | 全教員が環境教育を実施する<br>地域の清掃活動の実施        | 11～12 月  | 全生徒 |
| 防 災 教 育 | 全 校 | 防災教育(防災訓練)を実施する                    | 6 月、12 月 | 全生徒 |

##### ◇運用基準

- ① 環境実行計画にもとづき環境教育プログラムを実施する。
- ② 年間を通して、各教科等で環境教育を実施する。
- ③ 環境週間、環境月間において取り組んだ環境教育は、「環境教育実施報告書」にまとめる。
- ④ 地域とのコミュニケーション活動、防災教育については、年度末に「環境報告書」にまとめる。

#### (2) 家庭との連携

- ①『学校ホームページ』を通して、学校行事、生徒会の環境活動や各学科・コースで実施している環境教育・環境活動（地域交流等）を紹介。

#### (3) 地域との連携

- ①文化祭（農芸祭）・・・事前申込制により限定公開（保護者、河原田地区、中学生）をして実施。
  - ・各学科・各コース等において、学習成果の発表及び環境活動の紹介や体験を実施。
  - ・本校の教育活動、環境活動について、取り組みの写真展示等。
- ②施設園芸コース
  - ・井田川町づくり協会、吊り鉢(ペチュニア・トレニア)の製作と販売提供。
  - ・市内小・中学校(富州原中、塩浜中、河原田小等)卒業式用草花(サイネリア)の製作・装飾と販売提供。
  - ・地元河原田地区の方を対象に寄せ植え教室を実施。
- ③造園技術コース
  - ・生徒たちが講師となって、四日市・鈴鹿地区の中学校へ出前授業に出向き「中学生に造園の良さを伝え隊活動」と題して中学校の樹木剪定、環境整備を実施。
- ④自然環境コース
  - ・国土交通省の指標水生生物水質調査を行った。
  - ・地域の河川水質の環境に関する調査を行い、報告書を作成した。
  - ・外来種の有効活用について、地域のアメリカザリガニとモウソウチクの肥料化に取り組みその効果を検証した。
  - ・環境（野外体験）保育の研究、実践を亀山市の保育園と連携し行った。
- ⑤食品開発コース
  - ・四日市市商工課や四日市商店連合会と連携した地元市場活性化に向けたPR活動やポスター作成等の取り組み。
- ⑥生活福祉コース
  - ・河原田地区「すくすくサロン」への参加や、河原田・内部学童保育所との交流を実施。
- ⑦ダンス部
  - ・三重県高等学校ダンスフェスティバルへ参加。
- ⑧人権サークル
  - ・鈴鹿市人権教育センターが取り組んでいる「共生交流ひろば」に定期的に参加し障がいのある利用者さんとのづくり等を通じて交流。

#### (4) 企業との連携

##### ①自然環境コース

- ・四日市少年自然の家での里山保全実習の実施。
- ・亀山市立加太保育園の協力のもと、環境保育に関する実践を行った。
- ・県内の林業会社でインターンシップを行った。

##### ②施設園芸コース

- ・四日市南自動車学校、花壇作りの協力。
- ・鈴鹿サーキットにて、F1・8耐開催に向けた花壇作りの協力。

##### ③食料生産コース

- ・酒造会社（寒紅梅酒造）において、本校の酒米を用いたオリジナル日本酒、梅酒の販売。
- ・御幸毛織株式会社と羊毛の廃材利用研究。
- ・年間を通して、露地野菜と水耕野菜を三重促成(株)を通じてイオン四日市尾平店へ出荷・販売。
- ・年間を通して、養鶏(たまご)と水耕野菜を一号館や地元河原田「吉楽庵」へ出荷・販売。

##### ④食品開発コース

- ・地域のパン屋と連携したパンの開発、販売。
- ・都ホテルのレストランメニューの開発。
- ・ヤマモリ株式会社の方を講師に招いた「食品製造の楽しさ」等の講義の企画

#### (5) 大学等との連携

- ・DX ハイスクール指定に伴い、福岡大学西日本短期大学等から技術支援を受けた。

#### (6) 環境週間（2024年6月19日～6月25日）

- ①生徒環境委員会による、ゴミの分別状況、日常清掃の点検。  
節電・節水・美化の啓発ポスターの作成と校内掲示。
- ②体育祭終了後の清掃確認（四日市市中央緑地競技場）
- ③学校環境デーの実施・・・雨天により11月1日に順延し、実施。

#### (7) 環境月間（2024年11月11日～12月9日）

- ①生徒環境委員会による、ゴミの分別状況、日常清掃の点検。  
節電・節水・美化の啓発ポスターの作成と校内掲示。
- ②農芸祭期間中、農芸祭美化係・環境委員により、校内清掃を実施しました。
- ③環境月間を中心に環境教育プログラムに基づき、環境教育を実施致しました。

（ 次ページより、環境教育実施報告書一覧表を掲載 ）

# 2024環境教育実施報告書一覧表

| 教科 | 番 号    | 実践日         | 『 テーマ 』 教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 想像力  |      |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |
|----|--------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|-----|-------|------|-----|----|----|
|    | 名 前    | 教育対象者       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 思いやり | イメージ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |
|    |        | 実践場所        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 国語 | 2      | 11/13～11/18 | 教育テーマ『ゴミの分別、ゴミの削減』<br>【教育内容】<br>「農芸祭」で１－４の企画での装飾に、大量のゴミが出る見通しになった。ゴミを分別して少しでも再生できるようにすることはもちろんであるが、そもそもゴミにならないように資源として処分できるようにする方法を確認しあった。<br>・段ボールに直接着色する → 可燃ゴミになる、段ボールを細かくする時間が掛かる。<br>・段ボールの上に模造紙を貼り、そこに着色→模造紙だけ可燃ゴミ、段ボールは資源。<br>・家にある物の確認と利用 → 無駄な買い物がないように。重複購入を避ける。<br><br>問題点 模造紙代の費用が余分に掛かる。段ボールに直接書くことの雰囲気が出ない/環境を守るためにはお金が掛かるということ。工夫をするということ。<br><br>【今後の展開】意思疎通をはかり、ルールをみんなが熟知することで無駄を省き、ゴミの削減も可能になることを理解できたので、来年度の農芸祭やその他行事に活かせる。 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 市川 淳子  | 1-4生徒       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |        | 1－４ HR教室    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 国語 | 3      | 2024/11/12  | 教育テーマ「農芸祭展示の準備におけるゴミ分別の徹底と装飾材料の有効活用」<br>【教育内容】<br>１、画材等のゴミと紙などの可燃物をきちんと分別して捨ててあるか確認させた。<br>２、展示に必要な装飾品を各自が確認し、在庫で利用可能なものがないかを話し合い、新規に購入する物品をなるべく減らすよう努めさせた。<br>３、工作で使用した道具を片付ける際、廃棄する紙で汚れをぬぐうよう指導した。                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 新庄 美都代 | イラスト部       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |        | 農業実験室       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 国語 | 4      | 2024/12/19  | 教育テーマ『文学作品から見る環境問題』<br>【教育内容】<br>授業において扱う文学作品（『相棒』や『ひよこの眼』など）の時代背景を説明し、その時代がどのような環境だったかを説明した。授業の中で質疑応答を行う中で、現代の問題につなげて考えることができた。<br>【今後の展開】<br>日常生活の中で実践できることは実践していくこと。                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 矢吹 泰盛  | 3学年         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |        | 各HR教室       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 数学 | 8      |             | 【教育内容】テニスコート内に落ちている枝や落ち葉、石などを取り除くことで、安心して競技に取り組める環境をみんなで作れることを目指した。また、練習中に転がっているテニスボールを踏んでしまうことを避けるために、周りの生徒が声をかけることで、ケガのリスクをなくすような環境を作れることを目指した。<br>【今後の展開】テニスコート内の状況をみて、危険を察知し、声をかけたり行動することができるようになるには継続的な指導が必要だと考えるので、今後も続けていきたい。また、生徒に言うだけでなく、自分自身がそうした声かけや行動をすることで、生徒のお手本になれるようにしていきたい。                                                                                                                                                    |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 乙部 詢   | テニス部        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |        | テニスコート      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 社会 | 5      | 11/11～22    | 教育テーマ『生活文化と自然環境①地形②気候』<br>【教育内容】<br>様々な地形や気候を知り、そこで暮らす人々が行ってきた工夫について理解する。その工夫の背景に、その地形に与えられた限られた資源を効率的に活用してきたことを知る。<br>同緯度であっても、全く異なる暮らしが行われていることを知り、その背景に海との近さや標高、風向きなど様々な要因があることを理解し、自分自身の生活が当たり前のものではないことを考える。これまでに学習した、人や物の動きが気候の違いなどの影響を受けていることを知り、他者や環境への思いを深められるようにする。<br>【今後の展開】<br>より細かい気候帯での暮らしについて学習する。世界中には非常に多様な暮らしがあり、それぞれに理解を巡らせることで、地球規模での環境について考えていくことができると思う。                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 西川 峻   | 1学年         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |        | 各教室         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |

| 教科 | 番 号    | 実践日        | 『 テーマ 』教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 想像力  |          |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |  |
|----|--------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|------|-----|-------|------|-----|----|----|--|
|    | 名 前    | 教育対象者      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 思いやり | イメー<br>ジ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |  |
|    |        | 実践場所       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 理科 | 10     | 2024/11/23 | 教育テーマ『 音楽でつながる地域貢献』<br>【教育内容】<br>吹奏楽部では、年間を通じて地域への訪問演奏を実施している。地域の安全な生活や、伝統文化の保全にかかわり、SDGsに貢献することができた。また「来た時よりもきれいに」をモットーに、使用させていただいた場所の清掃やゴミ拾いを積極的に行うよう声掛けをしている。<br>【今後の展開】<br>定期的な訪問演奏と清掃活動を通じた、継続的な地域貢献を目指したい。                                                                                                                                                                                                                                                                           | ●    | ●        | ●    | ●   |       | ●    |     | ●  |    |  |
|    | 安田あおい  | JA河原田      | 吹奏楽部員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 理科 | 11     | 2024/11/25 | 教育テーマ『 SDGsを通して、命の大切さと自分の大切さを知る』<br>【教育内容】廃棄用豚の眼を使用することで、SDGsに貢献できた。廃棄する物にも学習要素があり、それをしようすることで無駄をなくせるという視点にも気付いた人数が増えた。また、豚の眼は人間の眼と構造が似ているので、自分の目のつくりについて理解することができた。<br>【今後の展開】自分の眼のつくりが理解できたことで、将来目に何か生じたときにも、原因や症状について理解しやすくなり、自分の人生の健康増進への意識を高めることができる。そして、廃棄物を無駄にしないという精神は今後生きる上でも1つのいい視点として生かされると期待している。                                                                                                                                                                              | ●    | ●        | ●    | ●   | ●     |      | ●   | ●  | ●  |  |
|    | 山野 亜佐美 | 化学実験室      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 英語 | 17     | 2024/11/1  | Lesson 5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler<br><br>病院で子どもたちの心のケアをするファシリティドッグ。その世話をするハンドラーと呼ばれる人たちは、病院で医療チームの一員としてファシリティドッグと共に働いている。注射や手術などでストレスを抱える子どもたちのために、ハンドラーという仕事があること、また仕事をする上で大切にしていることを学んだ。将来の自分の職業について考えさせるのと同時に、人のため、環境のために何ができるのかを考えるきっかけとなった。                                                                                                                                                                                                                          | ●    | ●        | ●    | ●   |       | ●    | ●   | ●  |    |  |
|    | 伊藤 栄紀  | 1年4組       | 1年4組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 英語 | 18     | 2024/10/1  | Lesson 9 Food Wasate<br><br>世界では9人に一人が飢えて苦しんでいる一方で、食べ物の3分の1が捨てられている。日本は主要先進国の中で食料自給率が最も低く、多くの食料を輸入しているが、一人1日2個のお握りに相当する食品を毎日廃棄している。レストランやスーパーマーケットや家庭において、農業科で学ぶ自分たちにできることは何かを考えた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ●    | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |  |
|    | 朝倉 貴子  | 2年1組後半講座   | 選択 2 A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 英語 | 19     | 2024/11/11 | Lesson 10 William and His Windmill<br><br>アフリカの小さな村で暮らす14歳の少年ウィリアムが、電気のない自分の村に風力発電機を作ろうと孤軍奮闘する様子を英文を通して学習した。<br>この単元では、異文化理解・国際理解と共に、自然エネルギーの有効性について改めて学ぶことができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ●    | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |  |
|    | 西塚 百合  | 2年3組後半講座   | 選択 2 A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 保体 | 13     | 2024/12/9  | 教育テーマ『 ゴミを捨てる者は幸せを捨てる ゴミを拾う者は幸せを拾う 』<br>【教育内容】<br>毎日使わせてもらっている教室や校舎内。2学期は特に行事が多いが、その中でも今回は農芸祭を通して、様々な視点から物事見ることを考えさせた。目に見えている所だけの掃除や作業としての掃除を行うのではなく、掃除の意味を理解し、相手への思いやりの心やおもてなしの心、物事を相手の立場として考えることの大切さなどを考え、取り組むことの大切さを伝えた。また、その感謝の気持ちを込めて、日々の掃除にも取り組むよう話をした。良い行いも悪い行いも、必ず、巡り巡って自分達へ返ってくるということ、日常の当たり前は決して当たり前ではないことを話し、物事をぶつ切りにして考えるのではなく、つなげて考えることの大切さを理解し、実践させた。<br>【今後の展開】<br>時間をかけて理解し実践していくものだと思うので、さらに伝え続けていきたい。今回、言われたからやるのではなく、今後、自主的に他の場面でも応用できるかどうか大切だと思うので、そう持って行けるよう今後も指導したい。 | ●    | ●        | ●    | ●   |       | ●    |     | ●  |    |  |
|    | 加藤 友理  | バスケットボール部  | 体育館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |

| 教科 | 番 号   | 実践日               | 『 テーマ 』 教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 想像力  |      |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |
|----|-------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|-----|-------|------|-----|----|----|
|    | 名 前   | 教育対象者             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 思いやり | イメージ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |
|    |       | 実践場所              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 保体 | 14    | 農芸祭               | ○教育テーマ「環境に優しく（再利用）」<br>○「教育内容」2年2組は農芸祭の模擬店で焼鳥を販売しました。調理方法はU字溝を焼き台として木炭を焼いて調理しました。2日間約1500本の焼鳥を焼いた木炭は一輪車一杯分にもなり、何とかが再利用を考えました。生徒と相談し、野菜を育てている畑に撒いて土壌を豊かにし、よりおいしい野菜が育つように考え、担当教員に相談し、了解を得て実習用の畑に木炭を撒きました。このように農芸祭の企画を通して、使ったものを再利用し、他に役立てることを学ぶことができました。                                                                                                                                                                                   | ●    | ●    |      | ●   | ●     | ●    | ●   |    | ●  |
|    | 川戸 正志 | 2年2組生徒            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |       | 校内                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 保体 | 15    | 2学期               | ○教育テーマ「環境と健康」<br>○「教育内容」科目保健の単元で環境汚染による健康被害について紹介し、大気汚染、水質汚濁を中心に自分たちでどのようなことに取り組めば、環境汚染を防ぐことができるかを考えた。過去に起きた公害がすべて環境汚染によるものであることから、同じ過ちを繰り返さないために環境に配慮した行動を進んで行うための知識や思考・判断力を身に着けることができた。<br>○「今後の展開」実際に生徒たちに行動によるECOポイントを決めさせ、一週間で何ポイント貯めることができるかを競争させてみたい。                                                                                                                                                                             | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     |      | ●   |    | ●  |
|    | 三輪 雄輝 | 2年生農業科            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |       | 各HR               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 保体 | 16    | 2024. 12. 6       | 陸上競技部が部活で使用している道具を保管する場所の、周辺の掃除、荷物の整理を行いました。毎日使用するものが保管されているので、誰もが使いやすくするよう心がけました。自分が使用するだけでなく、仲間も使いやすいうように片付ける工夫をさせています。<br>また怪我の防止のために走路の砂利を掃除しました。<br>部員みんなが気持ちよく練習ができるように、自ら進んでゴミ拾いや片付けができるように声掛けをしています。<br><br>【今後の展開】<br><br>日々、使用する場所をきれいに使い、仲間の事を考え誰もがわかりやすく片付けることを意識して生活できるように、声かけを行うとともに、生徒と一緒に片付けることで、環境についてともに考えていきたいと思う。                                                                                                    | ●    |      |      |     |       |      |     |    | ●  |
|    | 森田 花子 | 陸上競技部             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |       | 食品製造農業科棟<br>階段下 等 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 養護 | 56    | 11月11日～12月9日      | 教育テーマ『環境に配慮した来室用紙の利用と健康管理方法』<br>【教育内容】<br>けがや病気で来室した際に、生徒に記入してもらった来室用紙は、印刷の失敗や増版してしまった用紙の裏紙を利用し、無駄をなくし活用している。<br>また、必要以上に冷暖房を使用せず、衣服での体温調節や冬季にはマスクでの保湿等の適切な使用方法などを保健室来室者へ個別指導を行った。全校生徒への啓発としては、保健日より保健室前の掲示板を利用した働きかけを行った。<br>校内の衛生面の維持向上のため、生徒保健委員による石けん補充や飲料水の水質検査などの活動を行った。                                                                                                                                                           |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 出口 麻理 | 全校生徒              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      | ●    |     | ●     | ●    |     | ●  |    |
|    |       | 保健室               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 家庭 | 20    | 2024/11/7         | 教育テーマ『安全・安心・快適な住まい』<br>【教育内容】<br>高齢者や障害者のための住環境整備にあたって、より安全・安心・快適で自立した生活を送れるようにするためには、どのように整備することが大切なのか、基本的な知識を学ぶ。また、高齢者や障害者だけでなく、妊婦や子どもに対しても、安全・安心・快適な生活を営めるようにあらゆる人に配慮した住環境整備についても学ぶ。具体的には、生活行為別に見て屋外移動、外出、玄関・屋内・階段移動、排せつ、整容、入浴などと各テーマで学習する。それぞれ生活する人の身体状況、家族、経済的な状況、趣味や好みなども考えなくてはならない。自分自身や周囲の方々の生活を想像しながら、適切な住環境とはどんなものか考える。<br>【今後の展開】<br>3学期は住宅や建築物だけでなく、まちづくりについても学ぶ予定である。みんなが安心できる住生活を送るため、福祉住環境コーディネーターとしてどのように活動するのか総合的に学習する。 | ●    | ●    | ●    | ●   |       | ●    |     |    | ●  |
|    | 大下みなみ | 2年生活福祉コース         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|    |       | 家庭科<br>総合実習室      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |

| 教科 | 番 号    | 実践日        | 『 テーマ 』 教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 想像力  |      |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |  |  |
|----|--------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|-----|-------|------|-----|----|----|--|--|
|    | 名 前    | 教育対象者      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 思いやり | イメージ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |  |  |
|    |        | 実践場所       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |  |  |
| 家庭 | 21     | 2024/11/14 | 教育テーマ『 廃材等を活用したレクリエーション 』<br>【教育内容】<br>3年生の生活福祉コースでは、廃材等を使った工作やレクリエーションを考え、地域の子どもたちと交流している。今回、農芸祭では、主に段ボールや新聞紙、キッチンペーパーの芯などの廃材を利用したゲーム等を製作した。また、今までの実習で利用したものをさらに形を変えて、再利用した。<br>農芸祭終了後の片付けの際も、ゴミを分別し、さらに再利用できるものはないか検討した。<br>【今後の展開】<br>今後控えている校外実習や授業において、廃材の活用だけでなく、自分が作ってきたもののさらなる活用や、画用紙等を最後まで使い切るなど、ものを大切にすることや見通しを立てることを伝えていきたい。                                                                                                                                    | ●    | ●    |      | ●   | ●     | ●    |     | ●  |    |  |  |
|    | 奥田 佳那  | 3 年生活福祉コース | ●                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ●    |      | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |  |
|    |        | 家庭科総合実習室   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |  |  |
| 家庭 | 22     | 2024/11/13 | 教育テーマ『農芸祭の食堂運営から食品ロスを考える』<br>【教育内容】<br>農芸祭の食堂運営を通し、大量調理における食品ロスについて考えた。農芸祭の食堂で使用する食材について、廃棄をなるべく出さない工夫、注文や保管の方法でロスを出さない工夫を学ぶ。特に生徒が自分で育てた水菜について、栽培、収穫、洗浄、保管、調理、配膳、配食、検食、衛生管理を通して食材のロスをいかに少なくできるか考え、実践する。<br>【今後の展開】<br>一人一人の行動が大きな力となることを理解し、卒業後も考え、行動し続ける。                                                                                                                                                                                                                 | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |  |  |
|    | 浅野 香織  | 3年食物経営コース  | ●                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |  |  |
|    |        | 第 1 調理室    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |  |  |
| 家庭 | 26     | 11月27日     | 【教育テーマ】<br>『【製菓製パン】調理する際の環境問題とエコロジー 』<br>【教育内容】<br>食生活において、環境問題に対して様々な取り組みを行われていることを生徒に伝えた。日本の食品ロス問題や世界の食糧事情について伝え、考えさせた。私たちができることとして、材料を無駄にしないことや、できる限り調理の際にはごみを減らすように心がけるよう伝えた。<br>また、自分たちができることを考えさせた。たとえ小さな事でも、一人一人が心がければ大きな取り組みになることを伝えた。今後も、継続して自分のできることを考え、実際に取り組むことが大切であることを伝えた。                                                                                                                                                                                   | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |  |
|    | 細野 歩   | 3 年製菓衛生コース | ●                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |  |
|    |        | 第二調理室      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |  |  |
| 家庭 | 27     | 2024/11/21 | 教育テーマ『持続可能な社会を目指して』<br>【教育内容】<br>1. 大量消費を改め、ものを大切にする「もったいない」の意識について知る。<br>2. 暮らしの中で資源利用を削減すること<br>3. 消費者市民としてエシカル消費を実践すること<br>4. 地域や社会で連携して社会的活動を実践し、支援すること<br>を学ぶ。<br>以上を踏まえ、日常生活の中に自分でできることを考える。<br>そして3Rの分野別や、SDG s のどの目標に近いのか考える。                                                                                                                                                                                                                                      | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |  |
|    | 兼久 裕美子 | 2 年 3 組    | ●                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |  |
|    |        | 2 年 3 組 教室 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |  |  |
| 家庭 | 28     | 2024/11/8  | 教育テーマ『交流した子どもたちへのプレゼント制作』<br>【教育内容】<br>これまで 1 学期から、0 ～ 3 歳の子どもたちと計 2 回の交流をおこなっており、次回が最後の交流となる。子どもたちと交流するだけでなく、そのお母さんたちの悩みや生まれたときに喜び、キャリアビジョンに関してのお話を聞く貴重な機会になる。その最後の交流に向けて、プレゼント制作をおこなう。<br>これまで、子どもの発達・生活について学習してきた。保育の基礎知識を持って、実際に 0 ～ 3 歳の子どもたちと定期的に接することで、成長や命の重さを感じてきた。その知識と経験をもとに、制作時間、予算、子どもたちの好みや発達段階、安全であることなどを考慮したうえで、その子に合ったおもちゃを班で相談して決めている。材料も自分たちで集めたり注文したりして集めている。班で分担・計画し、提出日に間に合うよう作成する。<br>【今後の展開】<br>制作後は安全を確認し、ラッピングしてメッセージカードを添えて完成させる。最後の交流に向けて準備する。 | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |  |  |
|    | 武藤 智加  | 家庭科総合実習室   | ●                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ●    | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |  |
|    |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |     |       |      |     |    |    |  |  |

| 教科 | 番 号   | 実践日        | 『 テーマ 』 教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 想像力  |          |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |
|----|-------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|------|-----|-------|------|-----|----|----|
|    | 名 前   | 教育対象者      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 思いやり | イメー<br>ジ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |
|    |       | 実践場所       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
| 家庭 | 29    | 2024/11/21 | 教育テーマ『食品と環境問題』                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 細川美和子 | 2 年食物経営    | 食品廃棄物は、製造や流通過程のごみもあれば、食べ残しによる残飯、容器包装のゴミもある。ゴミをリサイクルするために制定された「食品リサイクル法」や「容器包装リサイクル法」について学習した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ●    | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |
|    |       | 2 年 4 組教室  | 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の実践を心がけたり、学校内にあるデボジット機の活用、各家庭でコンポストを利用することなど身近なことが循環型社会システムの構築や地球にやさしい環境づくりにつながっていくことを学び、一人一人できることから実行することと呼びかけた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
| 家庭 | 24    | 2024/11/25 | 教育テーマ『 風呂敷の染色③ 』<br>【教育内容】<br>1 2 月から始まる反物を染める練習として、手順や技法の確認、色合いなどを試す実習となっている。今までに取り組んだ染色技法を組み合わせながらデザインや手順を考え、時間や材料がどのくらい必要になるのかを見積もり、1 1 月下旬に完成を目指して実習を行っている。本時が最終回。その中で「作品作りは自分だけの作業であるが、周りの仲間のことを考え、作業場所の譲り合い、助剤や染料などすすんで準備する、ガスの元栓や給湯器の管理、使った器具の片付けなど、人のために動けるようになるう」と声をかけた。<br>【今後の展開】<br>反物製作にむけて、実習計画をしっかりと立てて「先を見通すこと」、自分の作品に取り組みながらもお互い作業がスムーズに進むよう「人のために動ける力」をつけられるようさらに声掛けをしたい。期末考査後からいよいよ本格的に反物の染色が始まるのでお互いの作品の扱いには気をつけること（思いやる力）、特に浸染の工程では協力し合う体制を整えていきたいと考えている。 | ●    | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   |    |    |
|    | 百々由里子 | 2年服飾       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
|    |       | 染色室        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
| 家庭 | 25    | 2024/11/11 | 教育テーマ『資源の節約、ごみ削減』                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
|    | 中村 通子 | 2年服飾       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ●    | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   |    | ●  |
|    |       | 被覆室        | ボトム製作で、裁断するときに生徒は何も考えずに型紙を置いて裁断しようとする。そこで、型紙を端からできるだけ空きスペースができないように置いて裁断するように指示をした。また、裁断した残りの布は、後で使いやすいように綺麗に切りそろえてたたんでおくようにも伝えた。切りそろえてできた布端も、小さく刻んで詰め物にして再利用できることも学習した。そして糸も同様に、無駄なく使うように指導をした。次の実習では、自ら考えて裁断が出来るようになって欲しい。また、他の資源についても同じように考えて工夫しながら物作りが出来るように育てたい。                                                                                                                                                                                                          |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
| 家庭 | 23    | 2024/12/19 | 教育テーマ『無駄のない食材の準備・利用』<br>【教育内容】<br>2 年食物経営コースの生徒は、2 学期末に、食物調理技術検定 2 級を受検する。各自で立てた献立に従って実技（調理）を行うので、使用する食材は基本的に各自で準備する。また、検定本番の採点項目で、生ごみのチェックがあり、可食部が廃棄されていたりすると減点になる。これらのことと絡めて、無駄のない食材の準備・利用について、普段から意識・実践しようとする意欲を育てる。<br>〈食材準備〉<br>初めて実技練習のため食材を準備してきたときは、まだ使用材料・分量が定まりきっていなかったこともあり、多めの量を持ってきて使い残す生徒が多く、また、惜しげ無く食材を使う感じもあったので、献立が固まって使用材料・分量が定まったら、極力無駄のないよう食材を準備して使い切ることを指導した。<br>〈調理〉<br>へたの取り方・皮のむき方などで、可食部を廃棄しない意識を持たせた                                                 | ●    | ●        |      | ●   | ●     |      |     |    |    |
|    | 立木 直子 | 2 年食物経営コース |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |          |      |     |       |      |     |    |    |
|    |       | 第一調理室      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |          |      |     |       |      |     |    |    |

| 教科  | 番 号    | 実践日                | 『 テーマ 』教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                            | 想像力  |      |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |
|-----|--------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|-----|-------|------|-----|----|----|
|     | 名 前    | 教育対象者              |                                                                                                                                                                                                                                                           | 思いやり | イメージ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |
|     |        | 実践場所               |                                                                                                                                                                                                                                                           |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農 業 | 30     | 2024/11/12         | 科目 野菜<br>『SDGsの取組について』                                                                                                                                                                                                                                    |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     | 上田 圭祐  | 農業科学科3年<br>食料生産コース | STEAM教育の取組の一環について、起業をする際に環境を含めたSDGsに取り組むことが重要だと学んだ。そこから自分たちの起業に取り入れやすい目標は何か、どの分野に入るのかなどを調べたり話し合ったりした。                                                                                                                                                     |      | ●    | ●    | ●   |       | ●    | ●   | ●  | ●  |
|     |        | 視聴覚教室              | どの分野も想像より身近であることが理解できたと思う。<br>またこれを含めた結果をそれぞれのグループでスライド化し発表を行った。                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農 業 | 31     | 11月11日、13日         | 科目 農業機械<br>『ディーゼルエンジンの排気ガス』について                                                                                                                                                                                                                           |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     | 城 秀教   | 農業科学科3年<br>食料生産コース | 農業機械の授業でディーゼルエンジンについて学んでいるため、大型車やディーゼル自動車等による窒素酸化物（NOx）や粒子状物質（PM）などの大気環境汚染について調べ学習を行った。                                                                                                                                                                   |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     |        | 3-1 教室             | 三重県では、大気環境基準を達成するため、三重県自動車窒素酸化物等総量削減計画に基づき、事業者や関係団体などと連携・協力して、車種規制、交通流対策などの各種対策を総合的に実施しています。<br>三重県での取組を調べることで環境問題への意識を高めた。                                                                                                                               |      |      | ●    |     |       | ●    | ●   | ●  | ●  |
| 農 業 | 32     | 年間                 | 教育テーマ『フラワーロス』                                                                                                                                                                                                                                             |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     | 辻 泰弘   | 農業科学科<br>施設園芸コース   | 【教育内容】<br>〇〇ロスという言葉が流行っている。特に食品ロスは定期的にニュースで取り上げられるくらい有名である。しかし、花のロスについては、それほど多く取り上げられるものではない。そこで、コンテストの練習などで余ってくる花材などをドライフラワーに加工して、課題研究の授業などで使ってもらえるように準備を行った。                                                                                            |      |      | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   | ●  | ●  |
|     |        | 温室他                | 農芸祭・花フェスタなどでは、フラワーロスに関する販売ブースも生徒主体で設けて、PRと同時に販売を行った。                                                                                                                                                                                                      |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農 業 | 33     | 12/13(金)           | 科目：草花 『化石燃料』の利用について                                                                                                                                                                                                                                       |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     | 山口 治秀  | 2-1                | 農業を営む上でも、化石燃料は欠かせない。<br>その使用料をわかりやすくするために、私（山口）自身が通勤の自家用車利用でどの程度使用するか（1往復で約4L）を話した。                                                                                                                                                                       |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     |        | 2-1 教室             | 実際の数字はわからないが、1億年単位の時間をかけて堆積した化石燃料を産業革命以降200～300年のわずかな時間で相当量人間が燃やしてしまっている。その影響で二酸化炭素濃度も280ppmから400ppmと急激に上昇してしまった。<br>私は人間のルー尔的には何ら違反もしていないが、地球環境には大きな負の影響を及ぼしている。農業も同じくである。<br>別の視点では、化石に燃料の利用は過去の時間を使っているともいえる。<br>こんなことを話しながら、環境問題は自分のことであることを感じてほしかった。 |      | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    |     | ●  | ●  |
| 農 業 | 35     | 2024.9～11          | 科目 総合実習<br>『農業資材の再利用』について                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     | 小澤 伸一郎 | 施設園芸コース            | 草花苗生産では塩ビポットでの生産が不可欠になっている。本校実習でも年間に10000鉢は使用される。<br>環境汚染について考え、再利用法について洗浄・消毒の工程を講義した。                                                                                                                                                                    |      | ●    | ●    |     |       | ●    | ●   |    | ●  |
|     |        | 五号温室               | また生産におけるコスト、再利用におけるコストについても考えさせた。<br>この取り組みで環境問題への意識を高めた。                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農 業 | 36     | 2024/7～8           | 「農業に頼り過ぎない水田害虫対策」                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|     | 山下 詞子  | 農業科1年生             | 斑点米カメムシ対策として、あぜにホワイトクローバーを播種したり、益虫の住処を残すために短く草刈をし過ぎないなど農業に頼り過ぎない対策をとって今年で三年目になる。                                                                                                                                                                          | ●    | ●    | ●    |     |       | ●    |     | ●  | ●  |
|     |        | 本校水田               | その効果を確かめるために、毎年病害虫だけでなく、益虫の調査も進めてきた。今までの調査結果も示しながら、その効果の可否を検討した。                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |

| 教科     | 番 号   | 実践日             | 『 テーマ 』教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 想像力  |          |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |  |
|--------|-------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|------|-----|-------|------|-----|----|----|--|
|        | 名 前   | 教育対象者           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 思いやり | イメー<br>ジ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |  |
|        |       | 実践場所            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 農<br>業 | 37    | 2024/8～11月（金）   | 教育テーマ『野菜における農薬の有効利用』<br>【教育内容】<br>野菜の農薬散布をするにあたり、規定量での農薬散布の必要性について話した。<br>農薬は、人間の体に害を及ぼすもの、環境を害する悪いものとして認識されている。しかし、野菜など特にナス科の野菜には、害虫から身を守る、危害を受けたらその部分を修復（再生）する能力がある。その際に、分泌されるのが有毒の成分である。その成分の野菜をたくさん食べることで体内に毒素を蓄積することになり中毒をおこすこともある。また、植物は直接害虫による害がなくても、害のあった植物が臭いを発することで周りの植物へ伝え危険を共有するともいわれている。そういった有毒の野菜をつくらないためにも害が少ない量で農薬散布をし、有毒分泌を防ぐために農薬があることを知ってもらう。<br>【今後の展開】<br>野菜栽培で、規定量の農薬散布について散布量・散布方法・散布をするに当たっての注意について学んでもらう。                            | ●    | ●        | ●    |     | ●     | ●    | ●   | ●  |    |  |
|        | 古城 義也 | 農業科1年生          | 露地野菜圃場                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 農<br>業 | 38    | 2024. 9～11      | 教育テーマ『管理実習 』<br>【教育内容】<br>・ 日常の管理のなかで生産物と自然環境の植物の共通点や役割の違いを随時話し意識させるようにした。またプラスチックのような環境負荷を伴う農業資材の是非について環境面や経営面、生産面など多角的なとらえ方ができるように指導知よう心がけた。<br>【今後の展開】<br>・ いつするのではなく常にどんなときも意識させるよう、授業以外でも常に声かけを続けていくようにする。                                                                                                                                                                                                                                               |      | ●        | ●    | ●   |       |      | ●   |    | ●  |  |
|        | 深井 悟  | 施設園芸コース<br>2,3年 | 温室、花壇他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 農<br>業 | 41    | 1 1 月           | 教育テーマ『HACCPシステム・ISOについて』<br>【教育内容】<br>3年食品製造において、HACCPシステム・ISOについて学習指導を行なった。<br>HACCPシステムを行うことで、食品ロスにつながることを伝えた。<br>ISOについては、ISO14000シリーズが環境マネジメントシステムであることについて、節電・節水・ゴミの分別が環境に優しいことを指導した。                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |          |      |     |       |      | ●   |    |    |  |
|        | 森村 直人 | 3年2組            | 3－2教室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 農<br>業 | 43    | 11月             | 教育テーマ『 加工食品製造残渣の再利用 』<br>【教育内容】<br>味噌の製造でミートチョッパーを分解する際に、機械の筒の中に残った味噌や、殺菌の温度管理のために販売できない味噌が1袋できてしまう。これらの味噌は食べるのに問題はないため、課題研究で使用している。味噌を使ったクッキーやメロンパンなど新たな製品を考えている。<br>クッキーの製造過程で出る、焼いた後のクッキーの粉を課題研究でタルトのビスケットの部分で利用しようと考えている。<br>また、食品製造実習の際に出る生ゴミや燃えるゴミなどの分別を徹底している。<br>マーマレードを製造する際に出る柑橘の皮や絞りかすなどの土に返る物は、堆肥にしている。<br>ジャムやクッキーなどのラベルの台紙は、農芸祭の際に、クッキーの引き替え番号を記した紙として利用している。<br>【今後の展開】<br>加工食品製造残渣の再利用として、様々な製品を考えていくとともに、加工食品製造残渣を減らすために味噌を温度管理ができる最低限の量にする。 |      | ●        |      |     |       | ●    |     | ●  |    |  |
|        | 新垣 小桃 | 3年2組            | 食品棟                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |

| 教科     | 番 号     | 実践日        | 『 テーマ 』 教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 想像力  |      |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |
|--------|---------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|-----|-------|------|-----|----|----|
|        | 名 前     | 教育対象者      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 思いやり | イメージ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |
|        |         | 実践場所       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農<br>業 | 1       | 2024/11/7  | 教育テーマ『実験に用いた試薬品の廃棄とゴミ分別の徹底や節水への取り組み』<br>【教育内容】<br>1. 1学期に行った各試薬品の廃棄の仕方について再度徹底させた<br>酸性の性質を含んでいるもの、アルカリ性の性質を含んでいるもの、重金属をふくんでいるもの。<br>これらの試薬を、流し台に流してしまったり、混合させたりしまわないように、それぞれを分別して、決められたところに廃棄するようにさせた。<br>2. 1学期に指導したゴミの分別について再度徹底<br>実験で出た反応物や生ごみ、可燃物、ビニール類、ガラス器具の割れ物など、分別の徹底を行うことの意識付けを実験の時間内においても、しっかりと持たせている。<br>3. 節水<br>実験器具の洗浄などを行うとき、節水を心掛ける意識を持たせている。<br>【今後の展開】<br>試薬品の分別した廃棄の必要性や、なぜ分別しなければならないのかを再度学習させたい。 |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|        | 北 畠 英 司 | 3年2組       | 食品化学実験室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      | ●    | ●    | ●   | ●     |      | ●   |    | ●  |
|        |         |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農<br>業 | 46      | 2024/11/7  | 『プロジェクト庭園での廃材利用』<br>課題研究の時間に、プロジェクト庭園の制作で竹の廃材を積極的に利用した。木柵の立子、竹垣など、多くの箇所に検定で使って廃棄予定の竹材を使った。また、以前技能五輪で使っていたレンガも積み上げて再利用した。生徒にも、廃材を利用することで、何でもすぐ新しい物を買わずに資源を有効利用する意識をもつように指導した。<br>造園では経年劣化した材料は時間を感じさせて逆に見栄えを良くする効果があるため、廃材利用は造園分野では昔から積極的に行われている。                                                                                                                                                                        |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|        | 深 田 将 希 | 造園技術コース生徒  | 造園棟周辺園場                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      | ●    | ●    | ●   | ●     |      | ●   |    |    |
|        |         |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農<br>業 | 47      | 2024/11/26 | 教育テーマ『都市緑地計画』<br>【教育内容】<br>都市緑地の様々な機能、効用について学習し、それがあつてわれわれの生活にどれだけの恩恵をもたらしてくれているのかを理解することができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|        | 宮 下 崇   | 環境造園科3年    | 造園棟3階                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      | ●    | ●    |     |       | ●    | ●   |    |    |
|        |         |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農<br>業 | 48      | 2024/11/6  | 教育テーマ『環境保育の実践』<br>課題研究のテーマとして、環境保育の実践に挑戦した。加太保育園との連携により、川遊びやネイチャークラフトなど実践的な活動を通してその意義や活用について学んだ。<br>実際にやってみることで、環境問題を伝える事の難しさや伝える事の大切さを学ぶことができた。                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|        | 古 市 貴 之 | 自然環境コース    | 造園棟2階                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ●    | ●    | ●    | ●   |       | ●    |     | ●  | ●  |
|        |         |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
| 農<br>業 | 49      | 2024/11/6  | 教育テーマ『SDGsとは何か』<br>【教育内容】<br>①SDGsとは、Sustainable Development Goalsの頭文字をとった言葉である。<br>②日本語では「持続可能な開発目標」と呼ぶ。<br>③一言で言うと、2030年までに良い世界を目指す国際目標である。<br>④SDGsは発展途上国も先進国も普遍的なもので、日本も積極的に取り組もうとしている。<br>⑤SDGsは17のゴールと169のターゲットで構成されている。<br>最後になぜSDGsが注目されることになったのか、個人的な見解も交えて話して授業を終えた。                                                                                                                                          |      |      |      |     |       |      |     |    |    |
|        | 天 野 徳 人 | 自然環境コース    | 造園棟2階                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      | ●    | ●    | ●   | ●     | ●    |     | ●  | ●  |
|        |         |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |      |      |     |       |      |     |    |    |

| 教科     | 番 号   | 実践日        | 『 テーマ 』教 育 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 想像力  |          |      | 行動力 |       |      | 理解力 |    |    |  |
|--------|-------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|------|-----|-------|------|-----|----|----|--|
|        | 名 前   | 教育対象者      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 思いやり | イメー<br>ジ | 自分ごと | 自主性 | ムダなくす | 人のため | 知る力 | 意見 | 本質 |  |
|        |       | 実践場所       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
| 農<br>業 | 50    | 2025/10/28 | 『 SDG s と農業の関係性 』                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        | 甚野 充範 | 1年生農業科     | 農業と気候変動に受ける被害から教えていき、SDG s とは何か考えさせて17つある目標で自分らは何をしていけば、うまく農業と温暖化などに対応していけるか考えました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       | 各HR        | 温暖化になり、お米の取れ高やいい品質のお米が収穫しづらくなっていますが、三重県で作られた品種では、暑さに強いお米が開発されたことを説明してどのように強くて品質のいいお米になるかを教えました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    | ●   |    |    |  |
| 農<br>業 | 51    | 2025/10/28 | 教育テーマ『木材加工や樹木剪定で出た廃材再利用 』<br>【教育内容】<br>学校の授業の木材加工で出た捨てるしかない細かい廃材や、樹木の剪定で出た枝などを再利用し商品にし文化祭などで販売するものとしてつくり付け加価値をつけての販売をおこなう。<br>【今後の展開】<br>去年は竹で廃材利用していたが、木工での端材が多いことに着目し、来年は剪定枝の細かいものはチップにして利用することを教えていきたい。                                                                                                                                                                                                                                  |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        | 鎌倉 惇  | 2年造園技術コース  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       | 造園棟周辺      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      | ●        | ●    |     | ●     |      | ●   |    | ●  |  |
| 農<br>業 | 52    | 2025/10/28 | 教育テーマ『 ネイチャークラフト 』<br>【教育内容】<br>・ 農芸祭では木の実を使ったクラフト体験を実施、この体験の見本を事前に作成。<br>インターネットから作品の参考になる物を探し、アレンジされた作品や自分たちでオリジナルの物を作ったりと様々な作品が見本として作成されました。<br>・ 身近な環境からたくさんの作品を生み出す想像力や、技術力、自然について興味を持ち学習することで、その楽しさをまわりの人へ伝え、広げていく力を育成。<br>【今後の展開】<br>・ クラフト体験を通して放置竹林や放置里山の利用を考える。<br>・ 木の実の収穫量を増やすために、せん定や落ち葉かきなどの手入れを行う。<br>・ 自分たちの身近にある自然の中でできる遊びを考え、世代を超えて楽しめる遊びを企画<br>・ たくさんの人と交流しながら楽しめる環境をつくる<br><br>ネイチャークラフト体験から環境学習を広げる活動ができる人材の育成に努めていきたい |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        | 岩崎 恵理 | 3年自然環境コース  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       | 造園棟        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    |     |    | ●  |  |
| 農<br>業 | 53    | 2025/10/28 | 教育テーマ『ネイチャークラフト』<br>【教育内容】<br>・ 四日市農芸高校の敷地内から採取された松ぼっくり、どんぐりなどを利用して1人1個作品を作った。<br>・ 1人1台端末を用いて実際にどのようなネイチャークラフトがあるのかを調べた。<br>・ ネイチャークラフトを製作する中で植物の利用価値を考えて、加工することで付加価値をつけた作品を作ことを目的とする。<br>・ ネイチャークラフトを作成することでどのような作品が作れるかを考える想像力と材料を加工するという技術力・創造力を身に着けさせる。                                                                                                                                                                                |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        | 信藤 達仁 | 1年生農業科     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        |       | 造園棟        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    |     |    | ●  |  |
| 司<br>書 | 55    | 11/20～12/9 | テーマ 「環境について知る・考える」<br>【教育内容】<br>・ さまざまなジャンルの関連図書を日替わりで展示、本文からの問いかけやクイズをホワイトボードに掲載した。<br>・ 難解なものは避け、親しみやすいものを意識して紹介した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |
|        | 塚田 美雪 | 全校生徒       | 【今後の課題】<br>付近を通る人以外に発信することができなかったため、発信方法を工夫する必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      | ●        | ●    | ●   | ●     | ●    |     | ●  | ●  |  |
|        |       | 図書館前廊下     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |          |      |     |       |      |     |    |    |  |

(8) 防災教育（防災訓練）の実施

①第1回防災訓練の実施（2024年6月7日）

| 時間帯（目安） |             | 内容                                   |                                       |                                           |
|---------|-------------|--------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------|
| S H R   | 8:50-9:00   | 出席確認・連絡                              |                                       |                                           |
| 1 限目    | 9:05-9:10   | 避難経路の確認                              |                                       |                                           |
|         | 9:11-9:35   | 地震・火災発生 避難開始                         |                                       |                                           |
|         |             | グラウンドへ避難完了※雨天時は体育館へ避難                |                                       |                                           |
|         | 9:35-9:55   | 講 評（学校長）                             |                                       |                                           |
|         |             | 1 年                                  | 2 年                                   | 3 年                                       |
| 2 限目    | 10:05-10:55 | 防災ノート【地震P, 3～8】<br>&<br>農芸高校に関する防災知識 | 防災ノート【台風P, 9～12】<br>&<br>農芸高校に関する防災知識 | 防災ノート【避難所生活P, 13～16】<br>&<br>農芸高校に関する防災知識 |
|         |             | HR教室                                 | HR教室                                  | HR教室                                      |
| 3 限目    | 11:05-11:55 | リモート防災講話（辻先生）・感想記入                   |                                       |                                           |
|         |             | 各HR教室                                |                                       |                                           |
| 昼休み     |             | 以降 通常                                |                                       |                                           |

2限目：防災学習（防災ノート&農芸高校に関する防災知識）

各 HR にて担任が実施

3限目：防災講話、感想入力

講師：辻先生 HR 教室でリモート視聴

②第2回防災訓練の実施（2024年12月12日）

| 時間帯   |                 | 1 年                 |             | 2 年          |              | 3 年    |       | 生活福祉<br>2・3年 |               |  |
|-------|-----------------|---------------------|-------------|--------------|--------------|--------|-------|--------------|---------------|--|
|       |                 | ※朝SHRまでに全員、体操服に着替える |             |              |              |        |       |              |               |  |
| SHR   | 8:50-<br>9:00   | 出席確認・連絡             |             |              |              |        |       |              |               |  |
|       |                 | 1 年                 |             | 2 年          |              | 3 年    |       |              | 包帯法講習<br>（指導） |  |
|       |                 | 1・2・3組              | 4・5組        | 1・2・3組       | 4・5組         | 1・2・3組 | 4・5組  |              |               |  |
| 1 限目  | 9:05-<br>9:55   | 救助袋訓練               | 防災LHR       | 防災LHR        | 消火訓練/<br>煙体験 | 包帯法講習  |       |              |               |  |
|       |                 | 農業理科棟 3 階廊下         | HR教室        | HR教室         | 芝生/<br>第一会議室 | 体育館    |       |              |               |  |
| 2 限目  | 10:05-<br>10:55 | 防災LHR               | 救助袋訓練       | 包帯法講習        |              | 起震車訓練  | 防災LHR |              |               |  |
|       |                 | HR教室                | 農業理科棟 3 階廊下 | 体育館          |              | 農業倉庫   | HR教室  |              |               |  |
| 3 限目  | 11:05-<br>11:55 | 包帯法講習               |             | 消火訓練/煙体験     | 防災LHR        | 防災LHR  | 起震車訓練 |              |               |  |
|       |                 | 体育館                 |             | 芝生/<br>第一会議室 | HR教室         | HR教室   | 農業倉庫  |              |               |  |
| 帰りSHR |                 |                     |             |              |              |        |       |              |               |  |

包帯法講習 対象：全学年

担当：日本赤十字社金谷様、生活福祉コース教員、生活福祉コース2，3年生、防災委員

場所：体育館

内容：三角巾を使った手当の仕方 など

救助袋訓練 対象：1年生

担当：サンインターナショナル(仮)、1学年担任団、農業科実習助手、防災委員

場所：家庭科棟3F家庭科情報室

内容：救助袋の滑空訓練・見学

消火器訓練/煙体験 対象：2年生

担当：南消防署、2学年担任団、防災委員

場所：芝生/第一会議室

内容：水消火器を使った消火体験/煙体験

**起震車訓練** 対象：3年生

担当：県からの派遣業者、3学年担任団、防災委員

場所：農場車庫

内容：起震車（2台）を使った地震体験

**防災 LHR** 対象：全学年

担当：担任

場所：各 HR 教室

内容：スライドを使った防災学習（第1部 消火訓練・避難訓練・通報訓練について、  
第2部 炊き出し訓練ハイゼックス炊飯について）

### ③ 職員防災研修

日程：11月18日（月）職員に向けクラスルームにて配信。

11月28日（火）～12月15日（金）までの期間に各自受講

内容：防災 LHR 時に使用するスライド・動画を視聴しフォームアンケートへ回答。

## 4 環境コミュニケーションの推進

### (1) 『みえ環境フェア2024』への出展 （2024年12月15日 メッセウイング・みえ（津市））

三重県における地球温暖化防止対策を一層推進するため、県民をはじめNPO、企業、三重県、市町学校等が取り組む地球温暖化防止活動や環境保全活動を紹介し、また、出展者相互の交流を図る場として開催されました。

本校からは、展示ブースで学校紹介、学科紹介、環境活動の紹介、実習作品、いきものがかりの展示と販売ブースで農産物・実習作品の販売を行いました。

農業クラブ役員3名農業クラブ員2名といきものがかり2名が参加しました。

ステージイベント「環境トーク」では、農業学科でプロジェクト研究に取り組む2名の代表生徒が活動紹介、大学生や他校の生徒と交流を深めました。



来場者 約5,000名 （主催：三重県地球温暖化防止活動推進センター）

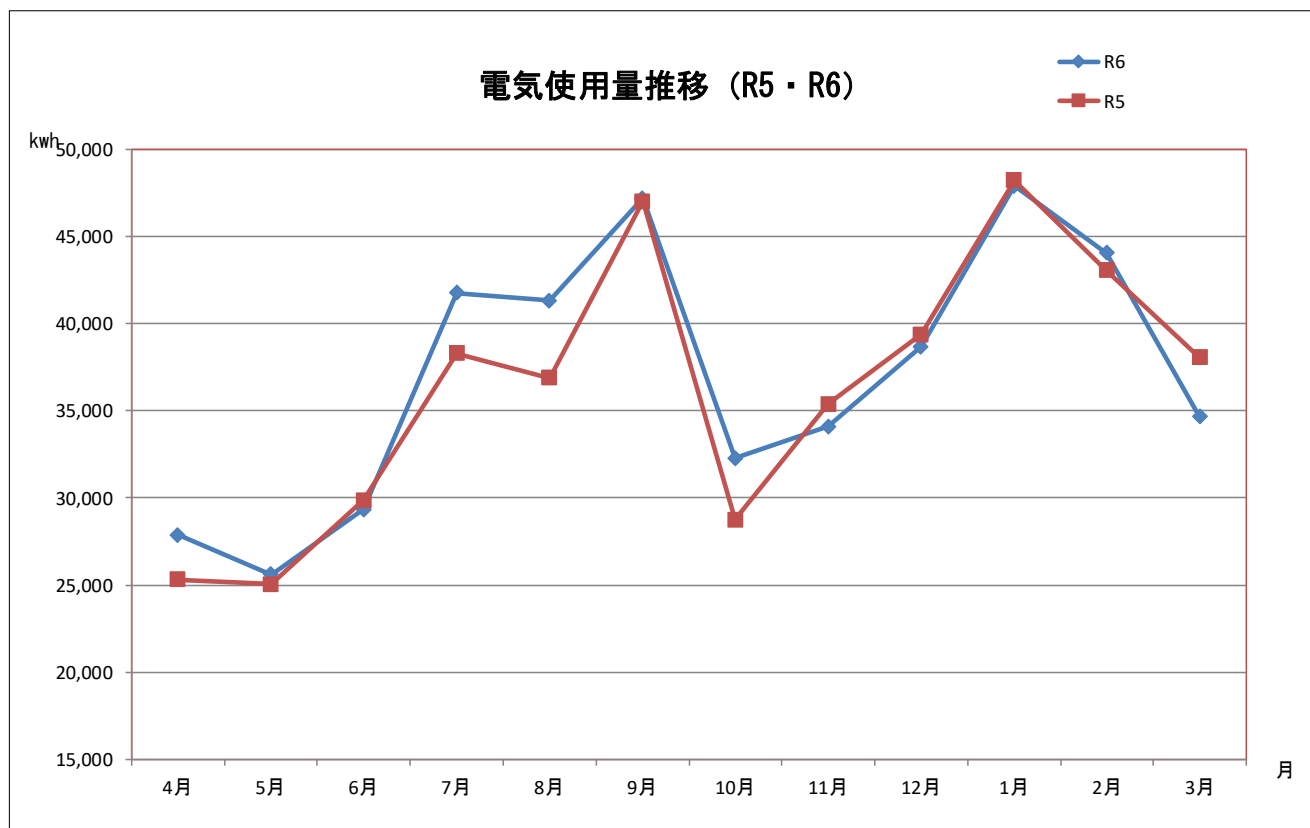
## 5 環境汚染の予防と環境保護の取り組みについて

### 電気使用量の推移 (R5・R6)

令和6年度目標：前年比3%削減

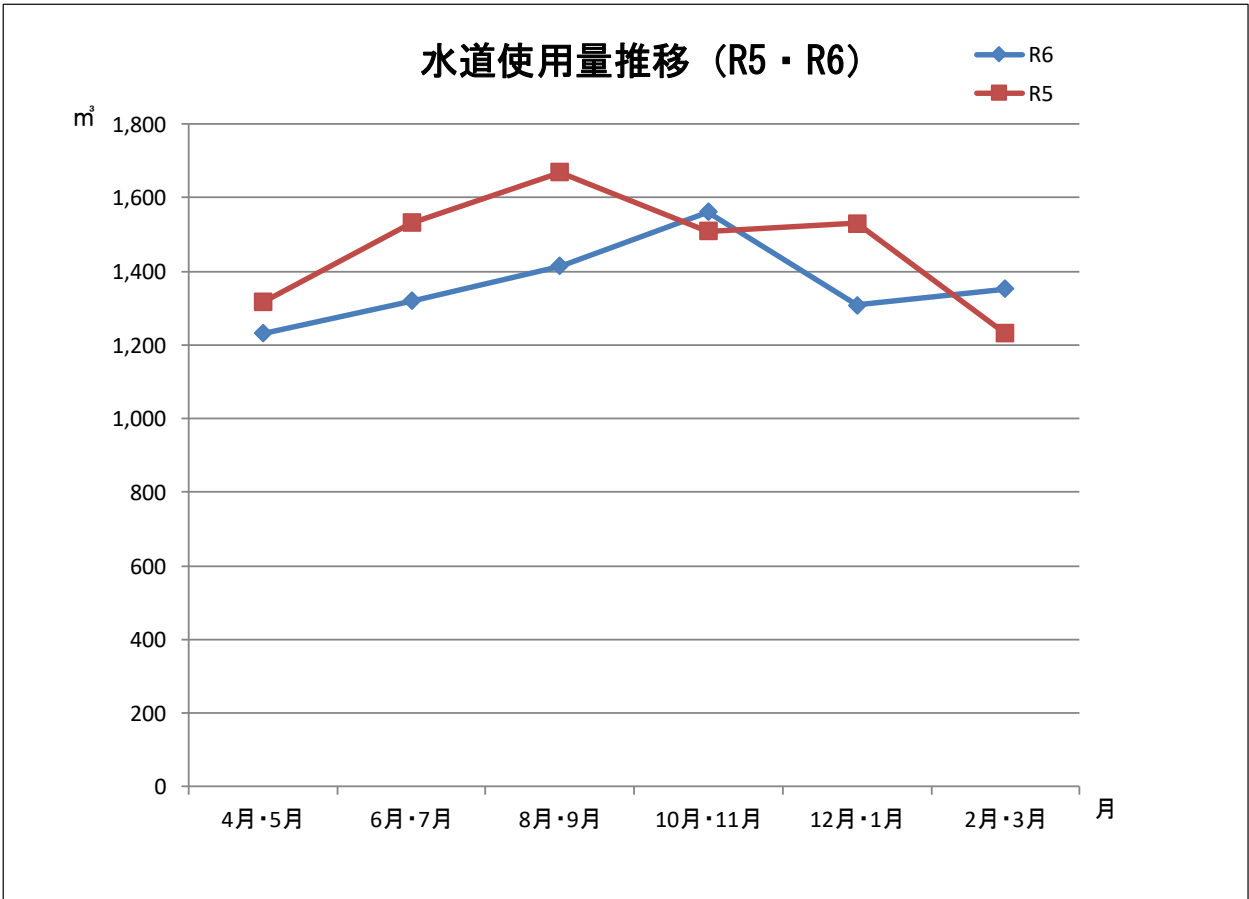
単位：kwh

|     | 令和5年度   | 令和6年度   | 前年比                           |
|-----|---------|---------|-------------------------------|
| 4月  | 25,316  | 27,868  | 10.1%                         |
| 5月  | 25,059  | 25,618  | 2.2%                          |
| 6月  | 29,856  | 29,326  | -1.8%                         |
| 7月  | 38,300  | 41,775  | 9.1%                          |
| 8月  | 36,885  | 41,319  | 12.0% 夏季休                     |
| 9月  | 47,012  | 47,196  | 0.4% ~R5.9月 最終保障供給契約          |
| 10月 | 28,760  | 32,270  | 12.2% R5.10月~ 入札により(株)エネットと契約 |
| 11月 | 35,387  | 34,107  | -3.6%                         |
| 12月 | 39,372  | 38,678  | -1.8%                         |
| 1月  | 48,228  | 47,891  | -0.7%                         |
| 2月  | 43,046  | 44,049  | 2.3%                          |
| 3月  | 38,059  | 34,670  | -8.9%                         |
| 計   | 435,280 | 444,767 | 2.2%                          |



水道使用量の推移（R5・R6）

| 単位：m <sup>3</sup> |       |       | 参考     |         |       |       |
|-------------------|-------|-------|--------|---------|-------|-------|
|                   | 令和5年度 | 令和6年度 | 前年比    |         | 令和4年度 | 令和3年度 |
| 4月・5月             | 1,317 | 1,231 | -6.5%  | R3休校分含む | 1,104 | 1,370 |
| 6月・7月             | 1,532 | 1,320 | -13.8% |         | 1,319 | 1,691 |
| 8月・9月             | 1,669 | 1,414 | -15.3% |         | 1,097 | 1,484 |
| 10月・11月           | 1,509 | 1,561 | 3.4%   |         | 1,196 | 1,068 |
| 12月・1月            | 1,530 | 1,308 | -14.5% |         | 1,215 | 1,182 |
| 2月・3月             | 1,232 | 1,353 | 9.8%   |         | 1,059 | 1,107 |
| 計                 | 8,789 | 8,187 | -6.8%  |         | 6,990 | 7,902 |



## 6. 【環境マネジメントシステム】2024年度 環境目標 達成度一覧(まとめ)

2025年3月31日

| 環境方針                 | 環境目標                                           | 取り組みの計画<br>実施事項                     | 達成度<br>(年度末のまとめ)                                                                                                                                                                                                                       |  |
|----------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|                      |                                                |                                     |                                                                                                                                                                                                                                        |  |
| 環境教育の<br>推進          | 1 環境教育を通して、生徒に「想像力」「行動力」「理解力」の3つの力をつける         | ①各教科等での環境教育                         | 各部門で、実施計画に基づき年間を通して環境教育が実施された。                                                                                                                                                                                                         |  |
|                      |                                                | ②環境週間                               | 6/19～25に実施。生徒環境委員会による清掃状況のチェックを実施。学校環境デーは、6/4に実施。                                                                                                                                                                                      |  |
|                      |                                                | ③環境月間                               | 11/11～12/9に実施。生徒環境委員会によるポスターの作成・掲示、清掃状況のチェックを実施。                                                                                                                                                                                       |  |
|                      |                                                | ④地域とのコミュニケーション活動                    | 11/18に地域清掃。教職員が環境教育に取り組み、環境教育実施報告書が提出された。                                                                                                                                                                                              |  |
|                      |                                                | ⑤防災教育(防災訓練)                         | 家庭学科・農業学科の各コースやクラブ活動において、地域との連携、コミュニケーション活動が実施された。<br>(1)6/7,第1回防災訓練：全校避難訓練。その後、防災学習(防災ノートと農芸高校に関する防災知識)、防災講話を実施しました。<br>(2)12/12,第2回防災訓練：1年生・救助袋訓練、2年生・消火訓練・煙体験、3年生・起震車訓練。炊き出し用パベツツギス米の全校生徒への配布。全校生学年別救急法三角巾包帯法訓練を実施。緊急時に対応できるように備える。 |  |
| 環境汚染の<br>予防と<br>環境保護 | 2 節電の実行                                        | ①節電型電球の100%利用の推進                    | グリーン購入比率100%。環境週間及び環境月間を中心に生徒環境委員会主導の啓発活動を行う。                                                                                                                                                                                          |  |
|                      | 節電の啓発活動を実行する                                   | ②節電のための啓発活動の実施                      | 電気使用量：前年度比2.2%の削減となった。                                                                                                                                                                                                                 |  |
|                      | 3 節水の実行                                        | 節水(不要な水を出さない取組みのための啓発活動の実施)         | 環境週間及環境月間を中心に生徒環境委員会主導の啓発活動を行う。                                                                                                                                                                                                        |  |
|                      | 節水の啓発活動を実行する                                   | 教室整備のチェックを年2回実施                     | 水道使用量：前年度比6.8%の削減となった。                                                                                                                                                                                                                 |  |
|                      | 4 日常清掃の徹底とゴミ分別による再利用化を推進する                     | 紙室整備のチェックを年2回実施                     | 生徒環境委員会による清掃状況の点検を実施。①ゴミは落ちていないか②整理整頓できているか③ロッカーの上にはないかの3項目を点検し、達成率は84%であった。                                                                                                                                                           |  |
| 開かれた<br>学校           | 5 紙使用量の減量化と分別処による紙の再利用化を推進する                   | 使用後の分別処理を徹底し、紙使用量における100%リサイクル化に努める | 紙使用量の減量化と両面使用によるリサイクル化及び分別処理に努めた。                                                                                                                                                                                                      |  |
|                      | 環境コミュニケーションの推進<br>「環境意識の向上と環境コミュニケーション活動を推進する」 | ① 職員研修の実施                           | 4/4,新着者対象の説明会を実施。5/2,職員会議において全職員へ今年度の取り組みを周知。                                                                                                                                                                                          |  |
|                      |                                                | ②校内外への環境コミュニケーションの推進                | ・『みえ環境フェア2024』に出展。展示…学校紹介、環境教育活動の紹介及び販売。<br>…「アベンジャーズ」イベント『環境トーク』へ代表生徒が出演。環境活動の紹介や他団体との交流を深める。<br>『環境報告書2024』を2025年5月に発行。                                                                                                              |  |

## 生徒向け 学校教育アンケート調査の結果（2024年度末実施）

### Q. 環境問題への関心が高まり、環境保護への気持ちがある

|      | 1.そう思う | 2.ややそう思う | 1.2.合計 | 1.2.合計(昨年度) |
|------|--------|----------|--------|-------------|
| 1 年生 | 23.6%  | 66.4%    | 90.0%  | 92.9%       |
| 2 年生 | 36.5%  | 51.6%    | 88.0%  | 93.7%       |
| 3 年生 | 44.6%  | 51.6%    | 96.2%  | 92.2%       |

### Q. 本校は、環境教育の取組みができている

|      | 1.そう思う | 2.ややそう思う | 1.2.合計 | 1.2.合計(昨年度) |
|------|--------|----------|--------|-------------|
| 1 年生 | 30.3%  | 62.3%    | 92.6%  | 94.9%       |
| 2 年生 | 46.9%  | 46.9%    | 93.8%  | 95.5%       |
| 3 年生 | 45.2%  | 52.7%    | 97.8%  | 94.7%       |

### Q. 地域との交流が勉強になっている

|      | 1.そう思う | 2.ややそう思う | 1.2.合計 | 1.2.合計(昨年度) |
|------|--------|----------|--------|-------------|
| 1 年生 | 26.0%  | 65.3%    | 91.3%  | 90.3%       |
| 2 年生 | 34.4%  | 53.1%    | 87.5%  | 85.2%       |
| 3 年生 | 50.0%  | 40.9%    | 90.9%  | 89.8%       |

## 保護者アンケート調査の結果（2024年度末実施）

### Q. 環境教育に積極的に取り組んでいる

|    | 1.そう思う | 2.ややそう思う | 1.2.合計 | 1.2.合計(昨年度) |
|----|--------|----------|--------|-------------|
| 全体 | 38.8%  | 45.0%    | 83.7%  | 84.7%       |

### Q. 地域との交流活動を積極的におこなっている。

|    | 1.そう思う | 2.ややそう思う | 1.2.合計 | 1.2.合計(昨年度) |
|----|--------|----------|--------|-------------|
| 全体 | 46.4%  | 40.5%    | 86.9%  | 86.8%       |

---

## 2024年度 環境報告書

---

2025年 4月 22日 発行

---

編集： 三重県立四日市農芸高等学校  
環境美化委員会